

CSR Report

2024

Nippon Molding Co.,Ltd.



地球の将来のためにパルプモールド。

PULP MOLD

<http://www.mold.co.jp>

Table of contents

トップメッセージ p.2
当社とSDGsの関わり p.3-4



LCA研究 p.5
パルモルドの環境負荷に関する共同研究結果を報告させていただきます。



注目を集める製品 p.6
ニューノーマルのニーズに対応した製品を開発中です。



水資源への取り組み p.7
水資源・環境に考慮したエネルギーへの代替を推進しております。



情報公開日
2024年1月11日

お問い合わせ先
〒446-0064
愛知県安城市弁天町2-9
本社工場 広報課
TEL(0566) 76-6411
FAX(0566) 76-5351



トップメッセージ

1956年に農水省の要望に応え、鶏卵輸送用緩衝材を製造する会社として設立した当社は、青果物・工業品・パッケージングなど多種多様なパルプモールドを製造するメーカーとして成長し67年を迎えます。企業ビジョンである【市場のニーズに応え、社員が成長・達成・存在を感じ、社会に奉仕する】を原動力に、社員満足度の向上や需要拡大に合わせた新しい価値の創造を推進して参りました。限りある資源を有効活用し、持続可能な社会実現へ貢献しつつ、紙の可能性を追究して参ります。

世界人口が90億人へと拡大していく中、これまでの使い捨てを前提とした社会システムが成り立たなくなっております。家庭から出るゴミの半分はパッケージが占めており、パッケージが変わる事で社会が変わる可能性を秘めていると信じています。

弊社では国内及び海外のパッケージをマテリアル循環システムが構築された紙等のパルプモールドへ置き換える活動を通じ、地域・環境へ貢献して参ります。

事業環境が大きく変化する状況下ではありますが、今後とも市場のニーズを捉えながら業績向上と社会貢献の両立を目指し、ステークホルダーの皆様と共に目標達成に向けて取り組んで参ります。

2024年1月吉日

2024年スローガン

【総親和】



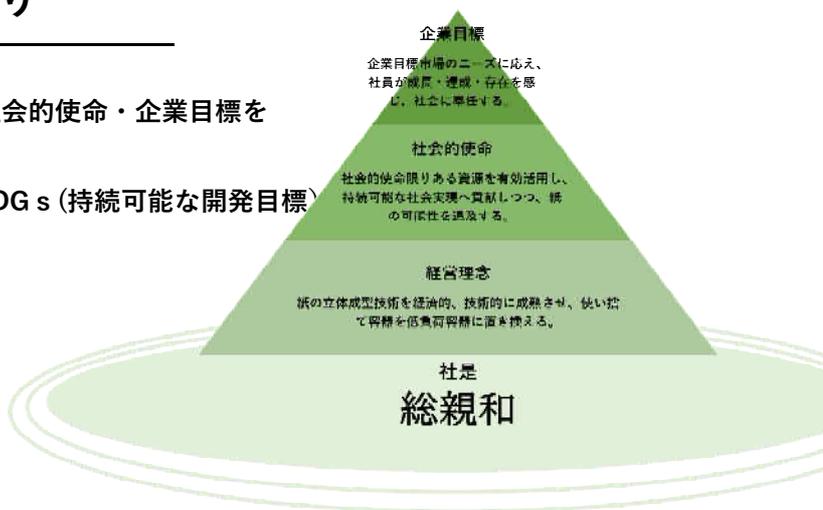
日本モールド工業株式会社
代表取締役社長

石原 雄大

当社とSDGsの関わり

当社では、社是をもとに、経営理念・社会的使命・企業目標を定め様々な活動を行っております。

これら取り組みを国連が提唱しているSDG s (持続可能な開発目標)の観点で整理致しました。



企業理念体系	日本モールド工業の取り組み
コンプライアンス・ガバナンス	定期的に健康診断・ストレスチェックを実施している。
	育児・介護支援を実施している。
	安全・安心な労働環境を促進するために研修やマニュアルの整備をしている。
	人が育つ職場作りや給与・処遇及び定年後の制度設計を実施している。
	年齢・性別・障害・人種・宗教で差別していない。
	ハラスメント行為があった場合、報告を受け原因を追究し、再発防止策を実施している。
	内部統制、内部監査を通じて賄賂の要求や支払いがないか監視している。 反社会勢力の排除に関する声明を実施している。
製品	市中・産業回収原材料を積極的に用いて製造を実施している。
	食品用プラスチックに代わる機能性を付与した紙製品を提供している。
	プラスチックに代わる紙緩衝材を取り扱っている。
	水の利用量を生産量に対応して削減している。
マネジメント	製品の生産以外での事業活動において、資源削減を実施している。
	CO2排出量の少ないエネルギーを採用している。
環境対応商品の開発・提供	FSC認証製品等の持続可能な原材料を調達している。
	FSC CoC認証を取得している。
ボランティア活動	地元学校に対して、持続可能な社会を目指した工場見学を実施している。
	回収スポットを設置し、地域の廃棄物を回収している。
	事業所周辺の清掃を行い、快適な環境を保っている。
人材教育	職業能力を向上させるための研修を実施している。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



SDGsの持続可能な開発目標との関連(○は関連する項目)

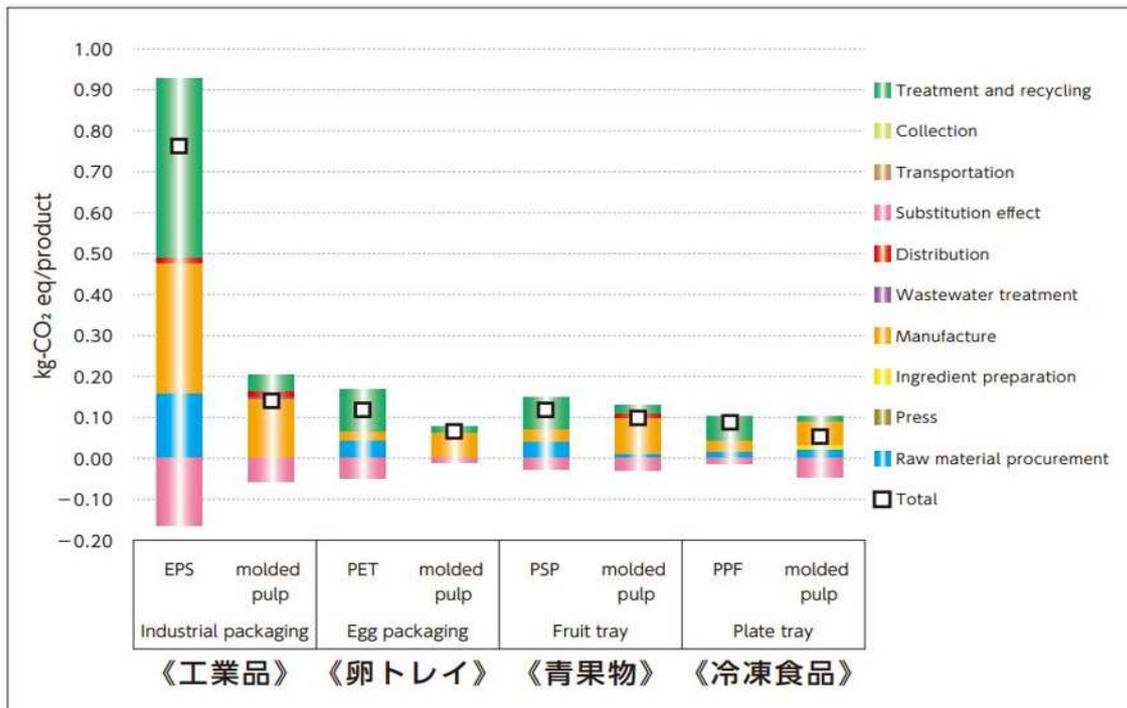
3	4	5	6	8	10	12	14	15	16
○									
		○							
		○							
		○		○	○				
		○		○					
									○
									○
						○	○	○	
			○			○	○	○	
						○		○	
	○					○		○	
					○				
					○				
	○	○		○					



LCA研究報告

当社ではパルプモールドを製造する企業として、パルプモールドの環境負荷の実態に関心を寄せており、この度京都大学主導のLCA(ライフサイクルアセスメント)実態調査に情報提供させていただきましたので、その結果を掲載させていただきます。

◆ GHG (温室効果ガス) 排出量の比較データ



項目	単位	工業品		卵パック		フルーツトレイ		お皿トレイ	
		PM	プラ	PM	プラ	PM	プラ	PM	プラ
エネルギー消費量	MJ	3.68	9.62	1.77	0.91	2.43	1.6	1.67	1.36
化石燃料消費量	MJ	1.71	5.96	0.73	1.55	1.1	1.59	0.22	0.59
GHG	kg-CO ₂ eq	0.14	0.76	0.06	0.12	0.1	0.12	0.05	0.08
NOx	g-NOx	0.08	0.27	0.04	0.01	0.07	0.03	0.03	0.02
SOx	g-SOx	0.03	0.27	0.02	0.02	0.03	0.04	0.04	0.02

調査結果

使用用途別の全ての調査対象においてパルプモールドは、GHG排出量と化石燃料消費量の項目で優れた結果であると算出されました。

引用文献: Yuka Mukai, Junya Yano, Misuzu Asari, Takehiro Ishihara, Tomoya Hoshino : Life cycle analysis for pulp molded products from perspective of alternatives to plastic packaging and containers, Proceedings of 3RINCs 2022, The 3R International Scientific Conference on Material Cycles and Waste Management, March) 14-18, 2022, Online



新たな需要に対応した製品

当社ではコロナウィルス蔓延に伴う新たなライフスタイルに対応した製品や世論の環境志向に寄り添った製品の開発・供給を実施しております。

パルパック(店頭販売用卵パック)



the New Normal

自炊の頻度が高くなる中、店頭販売用卵パックが注目されており、全国のスーパーや道の駅にて、ご活用いただいております。

ロジパレ(紙製パレット)



transportation

脱プラが叫ばれる中、その代替品としての製品開発を推進しております。その一例としてプラパレに代わるパルプモールド製パレット(ロジパレ)は燻蒸処理等を必要としないパレットあり、1way輸送に適しています。



お皿トレイ



reducing plastic waste

自宅食・宅配食問わず様々な場面でパルプモールド製お皿トレイは需要が広がっており、弊社でも様々な形状、サイズのお皿トレイを開発しております。

水資源への取り組み

当社では持続可能な社会を目指し、様々な取り組みを実施しております。
り添った製品の開発・供給を実施しております。

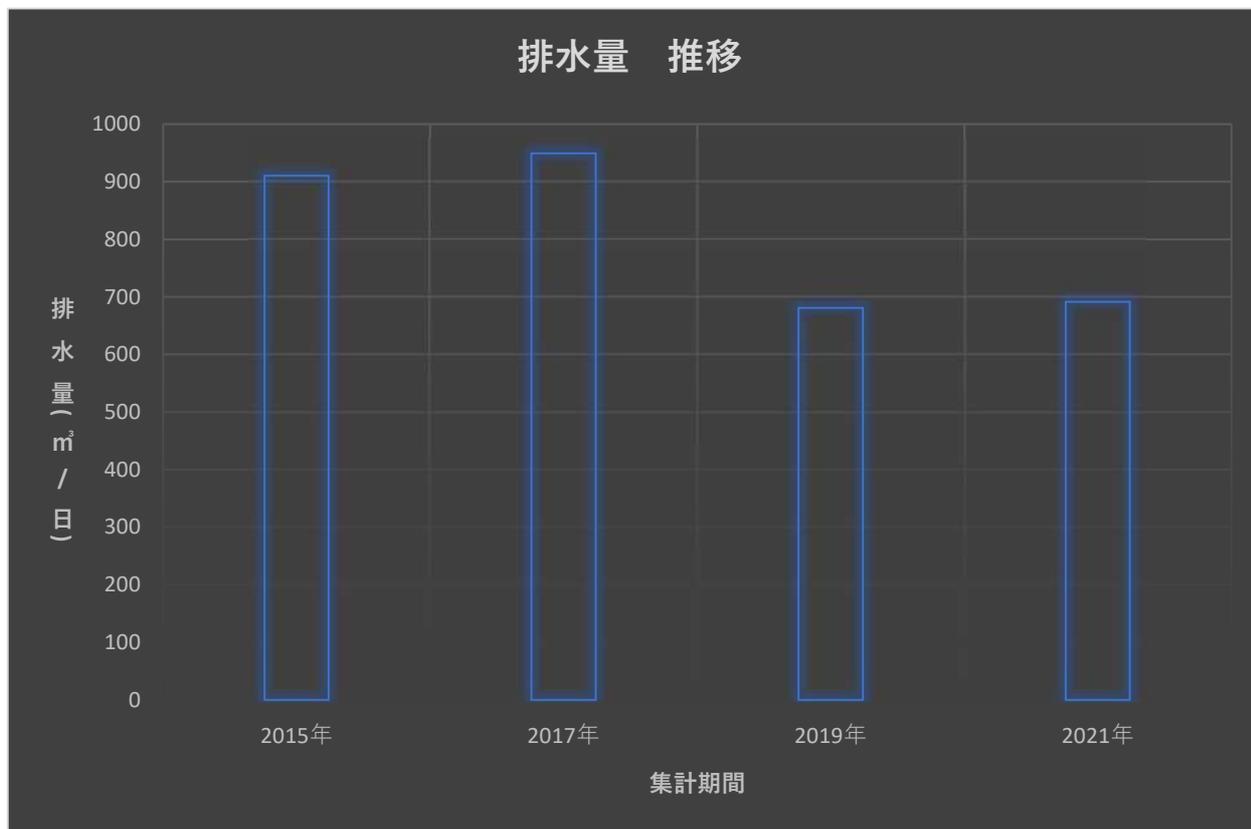
排水量削減

Reduction of wastewater



松井三郎顧問
京都大学名誉教授
排水処理 基準値以上に環境負荷の削減・排水量を工場内循環を促進させ、過去五年で半減・最終放流工程に北欧製の最新型濾過システムの導入・各製品目毎に水質データ管理→AIによる最適な薬品添加システム構築を模索中

削減実績





地球の将来のためにパルプモールド。

PULP MOLD

<https://www.mold.co.jp>